

15.8.5

六

No. 2

殿

建築材料
製板製函

東海道線江尻驛東海岸

富士製材所

電話
略話 二五八(井)

六月六日午後九時出火工場全部と焼失。翌七日袖師村
全村挙て灰寄せ片付けを平傳はれたり。

九日に至り従業員全部に對し、本日より普通作業中と

同様ニ賃銀を支給するに依り、自も早く復旧する

様努力せられしと云渡したるに、他人の無関係

の者々へは毎日平傳ひ呉れる事に付、同は復旧迄は

賃銀の支給を受けず、たゞ食費を付し受け、復興に

努力しなせしと申出有る、依て致方なく、同の

要求を入れ、賃銀へ又他の方法に依り支給する

考へに有るは、偶々新聞社の知る處となり

静岡の各新聞に掲載せられ、延いて東京大阪の
大新聞に轉載せられ、遠近より貴譜の芳書

大正十五年七月十四日